

(別紙様式4)

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地		
I G L医療専門学校	平成13年3月30日	平越 幸男	〒731-3164 広島市安佐南区伴東一丁目12番18号 (電話) 082-849-5001		
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地		
学校法人 I G L学園	昭和49年3月27日	永見 憲吾	〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6-31-1 (電話) 082-830-3399		
目 的	はり師、きゅう師に関する専門知識・技能を習得させ、企業等の要望を十分に理解し、実践的な職業教育を目指し指導に努める。				
課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療専門課程	鍼灸学科	3年(昼)	2414時間 89単位	平成16年文部科学大臣告示第17号	無
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技
	61単位	10単位	無	18単位	無
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
150人	55人	6人	15人	21人	
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日	成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 優(80点以上) 良(70点以上～80点未満) 可(60点以上～70点未満) 不可(60点未満)		
長期休み	■学年始め：4月1日～4月8日 ■夏 季：8月1日～8月31日 ■冬 季：12月24日～翌年1月6日 ■春 季：2月26日～3月31日	卒業・進級条件	進級要件 当該年次において開設している全科目についての単位が認定され、かつ学納金が納入期日までに納入されていること。 卒業要件 卒業に必要な全科目の単位を修得し、かつ学納金が納入期日までに納入されていること。		
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 長期欠席となる前に聴取、確認の面談を行い、早期出席を促す。	課外活動	■課外活動の種類 鍼灸学会大会研究発表 マラソン大会救護 ■サークル活動 (有・無)		
主な就職先	■主な就職先、業界 鍼灸接骨院、鍼灸院、 病院、診療所 ■就職率 100%	主な資格・検定	はり師、きゅう師 専門士		

<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者4名 ■中退率5.8%</p> <p>平成23年4月1日 在学者 69名（平成23年4月入学者を含む） 平成24年3月31日 在学者 65名（平成24年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 一身上の都合、学力不足</p> <p>■中退防止のための取組 早期に小テストなどで学力不足の学生をスクリーニングし、面談、勉強会を行う。</p>
<p>ホームページ</p>	<p>URL : http://www.igl.ac.jp/iryo/</p>

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

特化した分野で鍼灸施術を行っている企業・団体と連携し、授業内容の改善や見直しを行うことで、最新の情報を学生に教授できようとする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成25年11月24日現在

名 前	所 属
丸木 直也	公益社団法人 広島県鍼灸師会 副会長
花重 博明	株式会社エーデルワイス IGL 鍼灸マッサージ治療院 院長
山根 弘	山根鍼灸院 院長
加藤 弘幸	社団法人 広島県柔道接骨師会 総務部長
西田 和明	有限会社 Sesame オリエンタル鍼灸整骨院 部長
天野 秀昭	広島大学 歯学部 教授
浮田 瑞穂	広島県歯科衛生師会 会長
森下 真行	もりした歯科クリニック 院長
上間 京子	オフィス・ハーモニー 代表
平越 幸男	IGL医療専門学校 校長
下田 洋夫	IGL医療専門学校 副校長
武田 伸一	IGL医療専門学校 教務部長
尾野 龍一	IGL医療専門学校 鍼灸学科 学科長
柳楽 美作男	IGL医療専門学校 柔整学科 学科長
今井 康夫	IGL医療専門学校 口腔保健学科 学科長
松山 淑恵	IGL医療専門学校 教務事務担当

(開催日時)

第1回 平成25年11月24日(日) 9:30～10:30

第2回 平成26年2月9日(日) 9:30～11:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

特化した分野で鍼灸施術を行っている企業、団体と連携し、様々な分野で活躍できる鍼灸師を養成する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床実習	実際の鍼灸臨床の現場において、患者さんに対する治療の見学および鍼灸施術を通じて、授業で習得した知識や技術を広く応用させ、医療専門職従事者としての態度や習慣を身に付けることを目標とする。 校内臨床実習を9回、校外臨床実習を1回行う。	株式会社エーデルワイス IGL 鍼灸マッサージ治療院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員は鍼灸師の実務に関する研修と鍼灸養成学校の教員としての研修を、原則として年間1回以上ずつ受ける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成 25 年 11 月 24 日現在

名 前	所 属
花重 博明	株式会社エーデルワイス IGL 鍼灸マッサージ治療院 院長
山根 弘	山根鍼灸院 院長
西田 和明	有限会社 Sesame オリエンタル鍼灸整骨院 部長
森下 真行	もりした歯科クリニック 院長
上間 京子	オフィス・ハーモニー 代表
上高原 悟	広陵高等学校 校長
國部 智礼	IGL 医療専門学校同窓会 副会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.igl.ac.jp/iryo/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.igl.ac.jp/iryo/>

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			薬理学	頻繁に用いられている薬物について具体的な種類、特徴、副作用などについて基礎的な知識を学ぶとともに、薬物についての常識的な考え方を身に付ける。	2前	34	2	○		
○			英語	医療分野の職場におけるマナーとホスピタリティを英語を通して学ぶ。	1前	34	2	○		
○			情報学	ビジネスソフトWordとExcelを使用して、文書作成やデータ管理といった情報活用の技術を身に付ける。	2後	34	2	○		
○			経営学	治療院を開設し、経営していくために必要な知識を学ぶとともに、継続的な経営を行うために実践していくべき能力の習得を目指す。	2前	34	2	○		
○			臨床心理学	治療者が施術効果を一層高めるために必要な人間理解の基本を体得することを目標とする。	1前	34	2	○		
○			人間学	人生の各発達段階に応じた生活課題を克服する手がかりをみつけることを目標とする。	1後	34	2	○		
○			栄養学	食品に含まれる栄養素の化学、それを受け入れる生体側の生理、疾病とのかかわりなどを総合的に学ぶ。	2前	34	2	○		
○			解剖学	医療技術の修得を志すものにとって、必要不可欠な、人体の構成、運動器系、神経系について学ぶ。	1通	136	6	○		
○			解剖生理学 I	人体の構成、消化器系、泌尿器系、生殖器系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1通	60	2	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			解剖生理学Ⅱ	生理学の基礎、血液、呼吸器系、内分泌系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1前	60	2	○		
○			解剖生理学Ⅲ	循環器系、神経、内臓の自律神経性調節、筋、運動、感覚、感覚器系について解剖と生理の両面から学ぶ。	1後	60	2	○		
○			運動学	人間の運動にかかわる身体の機能と構造について、基本的な知識を身につけることを目標に、運動時の解剖的、生理学的メカニズムを学ぶ。	2後	30	1	○		
○			病理学概論	病気の種類、原因、成り立つ機序や経過、転帰といった一連の過程について、全身の臓器・組織に通じる基本的原則を生体構造の形態的变化を中心に学ぶ。	3通	66	3	○		
○			衛生学・公衆衛生学	健康を守ることを自分自身の問題としてとらえ、その考えを他の多くの人たち(社会全体)に当てはめて考えていくことができることを目標に学ぶ。	3通	66	3	○		
○			臨床医学総論	鍼灸師として必要な総合的な医療知識を習得し、臨床において適格な病能把握ができるよう学ぶ。	2通	60	2	○		
○			臨床医学各論Ⅰ	消化器疾患、肝胆膵疾患、呼吸器疾患、腎尿路疾患、内分泌疾患、代謝・栄養疾患、循環器疾患、血液・造血疾患、神経疾患などについて西洋医学の面から学ぶ。	2通	120	4	○		
○			臨床医学各論Ⅱ	整形外科疾患を中心に西洋医学の面から、症状、基本的な診断法、治療法の概略を学ぶ。	2前	30	1	○		
○			リハビリテーション医学	リハビリテーション医学の概略、考え方、障害治療の位置づけと意義を理解し、各疾患の診断や、治療の進め方について学ぶ。	3前	30	1	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			医療概論	医療・社会保障制度の特色と現在の問題点などを社会的・歴史的背景を踏まえながらとらえ、医療の実践において重要な倫理的概念を学ぶ。	3 後	22	1	○		
○			関係法規	はり師・きゅう師として必要な免許に関する事項、施術所の開設、業務などについて、法律の知識の定着を目指すとともに、施術時に気を付けるべき法律問題を学ぶ。	3 前	30	1	○		
○			東洋医学概論Ⅰ	東洋医学の基本的な考え方や知識を習得し、東洋医学的な病能把握や治療ができる力を身に付けることを目標に学ぶ。	1 通	60	2	○		
○			経絡経穴概論Ⅰ	鍼灸を学ぶ上で、基礎となる経絡・経穴の名前、順番、取穴法、要穴を学ぶ。	1 通	60	2	○		
○			はりきゅう理論	鍼灸の種々の方式及び術式や、鍼灸刺激によって生じる種々の生体反応の機序を科学的に学ぶ。	2 通	68	3	○		
○			東洋医学臨床論Ⅰ	診察情報をもとに、鍼灸治療の適・不適を判断し適切な鍼灸治療が行えるよう、主に整形外科疾患を中心に現代的な考えと東洋医学的な考えを学ぶ。	2 通	60	2	○		
○			東洋医学臨床論Ⅱ	診察情報をもとに、鍼灸治療の適・不適を判断し適切な鍼灸治療が行えるよう、主に内科的疾患に対する現代的な考えと東洋医学的な考えを学ぶ。国家試験対策も合わせて行う。	3 通	66	3	○		
○			東洋医学概論Ⅱ	東洋医学概論Ⅰで学んだ東洋医学の基本的考え方の定着を図るとともに、東洋医学的な病能把握や治療をするための基礎を学ぶ。	2 前	30	1	○		
○			症候診断学	東洋医学概論Ⅰで学んだ東洋医学の基本的考え方をを用い、患者の症状から病能を東洋医学的に把握し、治療方針をたてることのできるよう学ぶ。	2 通	68	2	○		

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			経絡経穴概論Ⅱ	経絡経穴概論Ⅰで学んだ経穴を、人体で正確に取穴できるよう実習を行う。	1通	68	2			○
○			社会はりきゅう学Ⅰ	現代社会における鍼灸治療の現状と課題を踏まえ、鍼灸師の果たすべき役割について学ぶ。特にスポーツ傷害に対応できる知識、技能の習得を目指す。	3前	30	1	○		
○			社会はりきゅう学Ⅱ	現代社会における鍼灸治療の現状と課題をふまえ、鍼灸師の果たすべき役割について学ぶ。特に高齢者に対応できる知識、技能の習得を目指す。	3後	30	1	○		
○			鍼灸基礎実習Ⅰ	鍼灸実技に関する基本的な知識、技術を修得するとともに、鍼灸の臨床家としての態度や礼儀を身に付ける。	1通	136	4			○
○			鍼灸基礎実習Ⅱ	灸実技に関する基本的な知識、技術を修得するとともに、鍼灸の臨床家としての態度や礼儀を身に付ける。	1通	68	2			○
○			鍼灸応用実習Ⅰ	鍼灸基礎実習Ⅰ・Ⅱで修得した基礎実技を応用し、東洋医学臨床論Ⅰで学んだ処方例や検査法を実践し修得する。	2通	135	3			○
○			鍼灸応用実習Ⅱ	中国鍼、小児鍼、美容鍼、円皮鍼、皮内鍼、灸頭鍼などの特殊鍼法の基本的知識と技術を修得する。	2前	34	1			○
○			社会はりきゅう学実習	スポーツ傷害、高齢者に多い疾患に対する鍼灸治療を学ぶ。	3通	66	2			○
○			徒手検査法	各徒手検査法の目的と意義を理解し、臨床で役立てるよう技術を修得する。	3前	34	1			○

授業科目等の概要

(医療専門課程鍼灸学科) 平成 25 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			鍼灸各種療法	様々な治療法を学ぶことで、偏った知識・技術ではなく、幅広い視野で鍼灸業界を見ていく目を養う。	3通	66	2			○
○			臨床実習	実際の鍼灸臨床の現場において見学、医療面接、病能把握、治療のサポート、鍼灸施術、カルテの記載等を行う。また、老人保健施設内にある治療院を見学する。	3通	45	1			○
○			総合演習Ⅰ	1・2年次に修得した、経絡経穴、東洋医学概論、はりきゅう理論の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3後	60	2		○	
○			総合演習Ⅱ	1年次に修得した、解剖学の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	60	2		○	
○			総合演習Ⅲ	1年次に修得した、生理学の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	66	3		○	
○			総合演習Ⅳ	2年次に修得した、臨床医学総論、臨床医学各論の理解を深めるため、国家試験の練習問題を中心に演習を行う。	3通	66	3		○	
○			医療面接	医療面接についての基礎的な知識を十分に理解した上で、ロールプレイを行い臨床実習や臨床現場で通用する技術を身に付ける。	2後	30	1	○		